



第96号

目次

『大日本史』本紀の億計王、弘計王発見記事について

堀井純二
(1)(2)(3)(4)(5)(6)

『大日本史』本紀の

億計王、弘計王発見記事について

堀井純二

はじめに

我が国の歴史に於いて皇統断絶の危機は
何度か存在するが、古代に於ける断絶の危
機の一つが清寧天皇の時である。その時は
播磨国に於いて億計王、弘計王が発見され
たことにより危機は回避されたのである。
この事について『大日本史』本紀(以下「本
記」と略称する)は如何に記述としている
かを見ていくことにしたい。なおこの「本
紀」は吉田一徳博士による^{註1}に板垣宗愴の
執筆である。

第二節 「清寧天皇本紀」以下の記述

1 清寧天皇本紀

① 二年辛丑、春二月、天皇憂^三無^レ子而名
不^レ伝於後^一。命^二大伴室屋^一、置^二白
髮部舍人、膳夫鞠負於諸国^一。^{註2}

本条は要約文であり、二重線の部分は天
皇の気持ちを記してものである。なお一重
線は『日本書紀』^{註3}と同文である事を示し
ている。(以下同じ)

② 冬十一月、播磨国司伊與来目部小盾奏。

市辺押磐皇子二子、億計王、弘計王、
在^二明石郡縮見屯倉首忍海部細目家^一。
天皇大喜、使^下小盾持^レ節、率^二左右舍
人^一迎^{上レ}之。

本条は「紀」の要約文であるが、二重線
の部分については第二節に於いて述べるこ
とにしよう。また「本紀」は

古事記載、清寧帝崩無^レ嗣。飯豊王居^二
角刺宮^一。時山部小盾任^二針間国宰^一。
飲^二酒土人志自牟家^一。命^レ衆舞。億計
王、弘計王、共居^二竈前^一熱^レ火。次至^二
二王^一、二王歌舞。小盾聞^レ歌、知^二其
皇胤^一。大驚、馳^レ駆、告^レ状。飯豊王
喜、迎取入^レ宮。一代要記曰、二年二
月、天皇憂^レ無^レ継嗣^一、遣^二大伴室屋大
連於諸国^一、求^二皇胤^一。十月、至^二播磨
明石郡^一、使^三小盾奉^二迎皇孫等^一。神皇
正統記亦為^下遣^二人諸国^一求^中皇胤^上。按
諸説與^二本書^一異。姑存以備^レ考。

と註している。「本紀」が『古事記』と『一
代要記』及び『神皇正統記』を挙げて
按諸説與^二本書^一異。姑存以備^レ考。

と、諸説のあることを明記している。なお
「本紀」が『播磨国風土記』を挙げていな
いのは、未だその写本が発見されていなか
ったためである。

③ 三年壬戌、春正月丙辰朔、小盾奉^二億

発行所 撰播歴史研究会

〒676-0004 高砂市荒井町千鳥二丁目二三―一二

電話 ○七九―四四二―〇六五八

FAX ○七九―四四二―一六五八

振替口座 ○一一〇〇―六一五八九〇九

※ 研究機関・学会・図書館等には無償で送付
しますのでお申し込み下さい。